

雜種ヲ作り得ズ、然ルニウ氏ノ作りシ接木雜種ノ花粉ハ、ヨクソノ母樹ノ卵ヲ受精セシメ得ベシ、
ウ氏ハコレヲ以テ眞ノ雜種ナル證トスレドモ、ムシロ却ツテソノ反證ニシテ、其ノヨク受精シ得
ルハ花粉ガ全ク純粹ニシテ、母樹ノソレト同一ナルガ爲ナリ。要スルニ、「ヒペルヒメレー」ハ例
ヘバ地衣ノ如キモノニシテ、一種ノ共生植物ニ過ギズ、只ソノ特徴ガヨク相混ジ、且ツ形態的調和
ヲ保ツガ故一見雜種ノ如キ觀アルノミト結論セリ。

寄

稿

矢部 教授

水前寺のり 熊本縣飽託郡出水村(熊本を距る
東に里餘)に水前寺と呼ぶ地あり、往時細川公の別墅なりし
が今は公園となり居れり、域内廣き池あり清冽なる水湧出し流れて画津湖に入る、此の下流蘆葦
の間水面に一種の藻類を生ず、住民之を採集して平板狀に抄き乾燥して販げり、之を水前寺のり
と云ふ、此植物は念珠藻の一種にして學名を *Nostoc Phyllocladema Ono.* と云ふ、スリンガー氏
(Suringer)は曾て此乾燥標品により *Phyllocladema* なる新屬を設け之を公にせられたり、然れども

實は念珠藻の一種に外ならず、唯其分解する極めて迅速なるが爲め真相を窺ふを得ざりしにより
て氏は誤謬を來せるなり、筑後川のりも全く同種の植物にして此他念珠藻を食用に供する例少か
らず、京都の鴨川のりも亦念珠藻の一種なり、本邦のみならず支那にても食用に供する事あり、清
國にて髮菜と稱する黒色髮狀のものあり水中に浸し適度に膨るゝを待たて汁などの中に入れて用
ゆ、四川省などに産すと云ふ、此物も實に念珠藻の一種なり。

「アカンサス」爵牀科の植物にして學名を *Acanthus longifolius* と言ひ地中海沿岸の地に野生す、
葉は大抵根生なれど互生し深く羽狀裂し恰も薊の葉に似たり、花は長き花梗上に穗狀をなせり、萼
の前後の裂片は頗る大にして花蕾を包裹し、花冠は下部稍筒狀をなし上部は五裂し不整齊にして
稍唇形をなす、花絲は太くして先端稍屈曲し葯に毛を帶べり、密槽は花筒の基脚に偏在し、花柱
は葯裂開の後伸長し柱頭は僅に二裂す、萌は長楕圓にして無柄、三乃至四個の種子を含む、此屬
の植物は其葉及幹を古來圖案に應用せらる、羅馬風の建造物の柱及び其他の彫刻等に「アカンサス
模様」と稱せらるゝもの之なり。

てうせんにんじん(人參) 五加科に屬する植物にして學名を *Panax ginseng* と云ふ、多年生草本に
して掌狀複葉を有し花は長き花梗の先端に繖狀に排列し萼の裂片は小形五個花瓣は五個覆瓦狀を
なし雄蕊は五個、花絲は絲狀葯は卵形にして子房は下位二乃至三室を有し花柱及び柱頭も二乃至

三個あり、根は紡錘狀をなし先端は多少二岐に分る、其形稍人に似たり故に此名あり、此植物は元來滿洲及び朝鮮北部の山地に自生するものにして清國にては古來此物を藥用とし長白山野生のものは最も有効なりとし貴重せられ吉林省より毎年皇室に之を貢するを例とせり、之に次ぎ貴ばるゝものは朝鮮に培養せらるゝものにして毎歲多量を清國に輸出し高麗人參の名にて稱せらる、開城(松都)の地は殊に此栽培に名あり此人參は從來は韓帝室の最も主なる財源の一なりしが現今は一種の病に犯され產額頓に減せるが故に總督府は其豫防法に注意苦心せられ居れり。本邦にても往時は漢藥を用ひ居りしが故に人參も從て貴重せられ享保四年種子を朝鮮に得て之を小石川藥園(今の植及日光に植ゑしむ、後漸く繁殖し、會津藩種子を日光に得て之を栽培するに至り御種人參物園)の名稱を生ぜり、會津藩は人民に栽植せしめ收穫後之を官納せしめ藩にて之を製し之を長崎に送り支那人に賣却せり、續て出雲藩にても竊に種子を日光より得來り栽培せしめ之を大阪に輸し販賣せり、出雲藩などにては特に人參奉行人參役所等を置き其監督中々嚴なりしが如し、尙此他羽前、信濃等の地も續て栽培するに至り一部分は内地にて消費し一部分は清國に輸出せられ、今日にても尙清國への輸出を見る、地理學の大家ライン先生の「Japan」と題する書には信州にて栽培せらる人參に就きて詳細に記載せられあり、元來人參は三年乃至五六年のものにては葉は數枚あり各葉は五個の小葉を有する掌狀複葉なれども一年生のものにては葉は三出の一葉に留り二年

生にては二個の葉を生ずるを見る、此の如く生長遲緩にして大抵六年位に至り根は收穫に適す、然れども之等の邦產人參は其聲譽遙に朝鮮產に及ばず、又近時米國にては極めて之に近似せる一種を培養し盛に上海地方に輸入す廣東人參の名を以て一般に稱せらるものなり、本邦にて稱するゝわんとんじんとは別なり。

卒業生諸子に告ぐ

乙部 敎授

物質的といふ語には色々な意義があるやうであります新聞に雜誌に物質的とか物質的文明とかいふ語があると其の次には何かしら個人又は世の中の悪い傾向を指さるゝ場合が多いことは物質そのものゝために辨護を要することであるが兎に角如何なる意義を以て是等の語を用ゐらるゝ人々でも電車に乗て御歸りになつたらさぞ御便利で御座いませう電信電話を利用せられたなら定めし御都合が好からうと思ひます吾々は最早口の先ばかりで慈善とか動物虐待禁止などを説く必要を認めません十字街頭に牛馬を鞭撻して風教に害ある場合には先づ「電氣モートル」を授けよす汽車などは最早前代の發明的紀念品で娑婆の人類運搬車と名けた方が宜しからうと思ひますが我國の山奥には電信電話は愚か汽車に乗つたことのないものがあるかも知れん併しながら大體に於